

平成 19 年度科学研究費補助金実績報告書 (研究実績報告書)

1. 機関番号 3 2 6 9 2 2. 研究機関名 東京工科大学
3. 研究種目名 基盤研究 (C) 4. 研究期間 平成 19 年度 ~ 平成 21 年度
5. 課題番号 1 9 5 0 0 2 1 5
6. 研究課題名 プロジェクトマネジメント教育支援システムの研究開発

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
6 0 3 8 6 7 6 1	<small>フリガナ</small> ナカムラ, タイチ 中村, 太一	コンピュータサイエンス学部	教授

8. 研究分担者 (所属研究機関名については、研究代表者の所属研究機関と異なる場合のみ記入すること。)

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名
	<small>フリガナ</small> -----		
	<small>フリガナ</small> -----		
	<small>フリガナ</small> -----		
	<small>フリガナ</small> -----		
	<small>フリガナ</small> -----		

9. 研究実績の概要 (国立情報学研究所でデータベース化するため、600 字~800 字で記入。図、グラフ等は記載しないこと。)

下欄には、当該年度に実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、交付申請書に記載した「研究の目的」、「研究実施計画」に照らし、600 字~800 字で、できるだけ分かりやすく記述すること。また、国立情報学研究所でデータベース化するため、図、グラフ等は記載しないこと。

学習者が何時でも何処でも誰とでもプロジェクトマネジメントのロールプレイ演習ができる環境を提供するため、Webアプリケーションを開発した。本システムは、学習者に提示する情報の画面を作成するユーザインタフェース、シナリオを解釈するロールプレイエンジン、ユーザ管理、シナリオDBやユーザDBの入出力を司るDBアクセス制御部、学習者同士が情報や意見交換するチャットおよび本システムのモニタや仮想プロジェクトの起動や停止を司るシステム管理で構成される。本システムは、ロールプレイ演習に必要な全ての情報をシナリオに集約したシナリオ・ドリブンのノンインテリジェンスのシステムである。

学習者に提示する演習課題と仮想プロジェクトに必要な学習者数、学習者が演じるステークホルダー、チャット開始指示、演習課題回答入力の有無、入力データ形式と数、仮想プロジェクトの状態遷移条件など仮想プロジェクトの状態を定義する制御情報をXMLのタグで定義した。本システムはシナリオに記載されたXMLタグを解釈し、演習を進行させる。

チームビルディングと価格契約交渉のロールプレイ演習を大学3年生の講義で実施した。演習システムのログから得られる演習時間とPMの役割を演じた学習者のチャットの発言回数との関係は、学習者が割り当てられた役割の認識の程度を推測する手がかりになる。演習課題に要した時間は、演習課題の難易度や時間配分などシナリオ作成の参考となる。これらの集計結果からグループや個人個人の学習指導方法の指針が得られる可能性がある。

平成20年度は、ロールプレイ演習システムにエージェント機能を実装する。それに対応して新たに定義するエージェント制御情報のXMLタグを定義し、本システムに実装する。また、学習者のログを分析し、学習効果を推測する。

※ 成果の公表を見合わせる必要がある場合は、その理由及び差し控え期間等を記入した調書(A4 判縦長横書 1 枚)を添付すること。

10. キーワード

- (1) プロジェクトマネジメント (2) ロールプレイ演習 (3) シナリオ
- (4) 教育手法 (5) (6)
- (7) (8) (裏面に続く)

11. 研究発表（平成19年度の研究成果）

〔雑誌論文〕 計（ ）件

著者名	論文標題			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁

〔学会発表〕 計（5）件

発表者名	発表標題		
加藤 伸紀 丸山 広 中村 太一	交渉力の把握と教育手法の提案		
学会等名	発表年月日	発表場所	
プロジェクトマネジメント学会 2007年度秋研究発表大会	2007年9月20日	東洋大学 白山キャンパス	

発表者名	発表標題		
中村太一 北浦有子 丸山広	プロジェクトマネジメントの教育方法		
学会等名	発表年月日	発表場所	
電子情報通信学会技術研究報告 技術と社会・倫理研究会	2007年11月2日	電気通信大学	

発表者名	発表標題		
中村太一 下山田俊 松岡雄介 佐々佳見 野中克裕 丸山広	シナリオドリブンアーキテクチャによるPMロールプレイ演習システム		
学会等名	発表年月日	発表場所	
プロジェクトマネジメント学会 2008年度春季研究発表大会	2008年3月15日	東洋大学 白山キャンパス	

発表者名	発表標題		
北浦有子 中村太一	ロールプレイシナリオを用いた疑似プロジェクト体験によるPM学習		
学会等名	発表年月日	発表場所	
プロジェクトマネジメント学会 2008年度春季研究発表大会	2008年3月15日	東洋大学 白山キャンパス	

発表者名	発表標題		
大日方勝博 中村太一	研究プロジェクトにおけるプロジェクト確定度の推移		
学会等名	発表年月日	発表場所	
プロジェクトマネジメント学会 2008年度春季研究発表大会	2008年3月15日	東洋大学 白山キャンパス	

〔図書〕 計（ ）件

著者名	出版社		
書名			発行年

12. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出願〕 計（ ）件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

〔取得〕 計（ ）件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別

13. 備考

※ 研究者又は所属研究機関が作成した研究内容又は研究成果に関するwebページがある場合は、URLを記載すること。

--